

第166回柏崎しんきん地区内経済指標

(平成22年1月)

柏崎信用金庫

1. 人口・世帯数動向

【単位：人、世帯、％】

| 地区別 | 人口 | | | 世帯 | | |
|-----------|---------|-------|-------|--------|-------|-------|
| | 人数 | 前年同月比 | 前月比 | 世帯数 | 前年同月比 | 前月比 |
| 中心部 | 9,753 | -0.87 | 0.02 | 4,063 | 0.66 | 0.19 |
| 東部地区 | 14,395 | 0.22 | -0.12 | 5,640 | 0.37 | -0.21 |
| 西部地区 | 10,773 | -0.84 | 0.00 | 4,011 | -0.29 | 0.12 |
| 駅南地区 | 6,337 | -1.50 | -0.11 | 2,669 | -0.89 | 0.00 |
| 半田地区 | 3,631 | 0.80 | 0.11 | 1,359 | 1.64 | 0.14 |
| 横山地区 | 5,691 | 0.33 | -0.33 | 1,873 | 1.35 | -0.37 |
| 茨目・田尻地区 | 7,000 | 0.35 | -0.02 | 2,344 | 0.77 | 0.12 |
| 荒浜地区 | 5,108 | -1.10 | -0.17 | 1,998 | -0.39 | -0.10 |
| その他地区 | 20,932 | -1.34 | -0.01 | 7,174 | 0.11 | 0.06 |
| 西山町地区 | 6,317 | -1.29 | 0.20 | 2,133 | -0.28 | 0.23 |
| 高柳町地区 | 1,952 | -1.86 | -0.05 | 848 | 0.95 | -0.11 |
| 柏崎市計 | 91,889 | -0.68 | -0.04 | 34,112 | 0.23 | 0.01 |
| 刈羽村 | 4,902 | -0.98 | -0.24 | 1,544 | 0.32 | -0.25 |
| 小国地区（長岡市） | 6,411 | -1.53 | -0.12 | 2,148 | -0.46 | 0.00 |
| 出雲崎町 | 5,193 | -2.16 | -0.23 | 1,812 | -0.71 | 0.00 |
| 合計 | 108,395 | -0.82 | -0.06 | 39,616 | 0.15 | 0.00 |

（資料出所：柏崎市、各市町村）

地域全体の人口動向は、前年同月比では引き続きすべての市町村・地区で減少しており、柏崎市で633人、0.68％、刈羽村で49人、0.98％、小国地区（長岡市）で100人、1.53％、出雲崎町で115人、2.16％とそれぞれ減少し、全体では897人、0.82％の減少となった。

また、前月比においても、柏崎市で39人、0.04％、刈羽村で12人、0.24％、小国地区で8人、0.12％、出雲崎町で12人、0.23％と減少したことから、全体では71人、0.06％の減少となっている。

一方、世帯数は、前年同月比では小国地区で10世帯、0.46％、出雲崎町で13世帯、0.71％と減少したものの、柏崎市で79世帯、0.23％、刈羽村で5世帯、0.32％と増加したことから、全体では61世帯、0.15％の増加となった。

また、前月比においても、刈羽村で4世帯、0.25％と減少したが、柏崎市で6世帯、0.01％と増加した結果、全体では2世帯、0.00％と僅かに増加している。

2. 労働需給状況

【単位：人、倍、％】

| | 柏崎職安 | 新潟県 | 前年同月比 | | 前月比 | |
|----------|-------|------|--------|--------|-------|-------|
| | | | 柏崎 | 県 | 柏崎 | 県 |
| 月間有効求人 | 491 | | -43.17 | | 0.40 | |
| 月間有効求職者 | 1,544 | | 5.97 | | -2.03 | |
| 月間有効求人倍率 | 0.32 | 0.35 | -0.27* | -0.15* | 0.01* | 0.00* |

*印は差し引き計算

（資料出所：柏崎公共職業安定所）

景気の同時指標である柏崎職業安定所管内の労働需給状況は、有効求人・求職状況（パートを除く常用）では、月間有効求人数が491人と前年同月比で373人、43.17％の大幅な減少となったものの、前月比では2人、0.40％と僅かではあるが増加している。

一方、月間有効求職者数は1,544人と前年同月比で87人、5.97％の増加となったが、前月比では32人、2.03％と減少している。

以上の結果、月間有効求人倍率は0.32倍と前年同月比では0.27ポイントと大幅に下回ったが、前月比では0.01ポイント改善している。なお、県平均0.35倍と比べて0.03ポイント下回っている。

また、新規求人・求職状況（パートを除く常用）については、月間新規求人数が187人と前年同月比で108人、36.61％の大幅な減少、一方、月間新規求職者数も369人と前年同月比で220人、37.35％と大幅に減少した結果、月間新規求人倍率は0.51倍となり、前年同月の0.50倍に比べて0.01ポイントと僅かに上回った。

3. 建築確認申請

【単位：件】

| | 当 月 の 申 請 | | | 平成22年1月の年度累計 | |
|-------------|-----------|-------|-------|--------------|-------|
| | 件 数 | 前年同月比 | 前 月 比 | 件 数 | 前年同月比 |
| 一 般 住 宅（併用） | 15 | -20 | -7 | 343 | -440 |
| 共 同 住 宅 | 0 | -1 | -1 | 9 | 3 |
| 事 務 所 | 1 | 1 | 0 | 9 | 1 |
| 作 業 所・工 場 | 0 | 0 | 0 | 2 | -15 |
| 営 業 建 物 | 1 | 1 | -1 | 21 | -5 |
| 公 共 建 物 | 0 | 0 | 0 | 2 | 1 |
| そ の 他 | 4 | 0 | -4 | 87 | -19 |
| 合 計 | 21 | -19 | -13 | 473 | -474 |

(資料出所： 柏崎市建築住宅課)

建築確認申請の状況は、当月の申請合計が21件と前年同月比で19件の減少、前月比でも13件の減少となっている。工種別における主な増減については、一般住宅（併用）が前年同月比で20件の減少、前月比でも7件の減少となった。

なお、工種全体の申請内容は、新築が9件、増築が8件、改築が4件となった。また、一般住宅（併用）15件における市内・市外施工業者別の確認申請の状況については、市内施工業者が10件（うち新築4件、増築3件、改築3件）、市外施工業者が5件（うち新築4件、改築1件）となっている。

4. 電力使用量

【単位：口、kwh、%】

| | 契 約 口 数 | | | 使 用 量 | | |
|-----|---------|-------|-------|--------|-------|-------|
| | 口 数 | 前年同月比 | 前 月 比 | 使 用 量 | 前年同月比 | 前 月 比 |
| 電 灯 | 64,963 | -0.89 | -0.20 | 29,550 | 5.82 | 32.59 |
| 電 力 | 11,190 | -3.04 | -0.21 | 40,327 | 10.27 | 4.72 |

(資料出所： 東北電力(株)柏崎営業所)

〔 電灯は、家庭・道路照明・一般器機等に100Vの電源。
電力は、工場・スーパー・モーター動力等主に200Vの電源。 〕

契約口数は、電灯が前年同月比で587口、0.89%の減少、前月比でも132口、0.20%と減少している。一方、電力においても前年同月比で352口、3.04%の減少、前月比でも24口、0.21%の減少となっている。

使用量は、電灯が前年同月比で1,627kwh、5.82%の増加、前月比でも7,264kwh、32.59%と大幅に増加している。一方、電力においても、前年同月比で3,759kwh、10.27%の増加、前月比でも1,821kwh、4.72%の増加となった。

5. ガス供給量・水道給水量

【単位：m³、%】

| | ガ ス 供 給 量 | | | 水 道 給 水 量 | | |
|-----------|-----------|-------|-------|-----------|--------|--------|
| | 供 給 量 | 前年同月比 | 前 月 比 | 給 水 量 | 前年同月比 | 前 月 比 |
| 家 庭 用 | 1,751,727 | 0.90 | 32.94 | 682,069 | -0.60 | 1.59 |
| 営 業 用 | 325,255 | 2.40 | 34.40 | 111,653 | -1.16 | -2.64 |
| 工 場 用 | 775,457 | 23.86 | 19.78 | 135,219 | 16.93 | -12.76 |
| 官 公 学 校 用 | 749,378 | 1.82 | 43.89 | 74,911 | -5.49 | 2.19 |
| そ の 他 | | | | 172 | 138.88 | 290.90 |
| 合 計 | 3,601,817 | 5.45 | 32.04 | 1,004,024 | 0.99 | -1.02 |

(資料出所： 柏崎市ガス水道局)

柏崎地域でのガス供給量は、用途合計では前年同月比で186,317m³、5.45%の増加、前月比でも873,997m³、32.04%と大幅に増加している。用途別内訳を見ると、前年同月比、前月比ともにすべての用途で増加している。

一方、水道給水量においては、前年同月比で9,843m³、0.99%の増加となったものの、前月比では10,372m³、1.02%の減少となっている。用途別内訳を見ると、前年同月比では工場用が大幅に増加、反面、前月比では工場用が大幅に減少している。

6. 北陸自動車道利用状況

【単位：台、％】

| | 入 口 | | | 出 口 | | |
|-----|---------|--------|--------|---------|--------|--------|
| | 台 数 | 前年同月比 | 前 月 比 | 台 数 | 前年同月比 | 前 月 比 |
| 柏 崎 | 74,596 | 5.92 | -8.04 | 76,602 | 3.03 | -9.25 |
| 西 山 | 33,820 | -19.38 | -16.92 | 30,495 | -21.07 | -16.09 |
| 米 山 | 14,540 | -18.88 | -12.96 | 13,203 | -22.83 | -18.14 |
| 合 計 | 122,956 | -5.63 | -11.24 | 120,300 | -7.53 | -12.11 |

(資料出所：柏崎市産業振興部観光交流課)

柏崎地域の物流指標となる高速道路出入口の交通量は、入口が全体では、前年同月比で7,343台、5.63%の減少、前月比でも15,581台、11.24%と減少している。

一方、出口においても、全体では前年同月比で9,799台、7.53%の減少、前月比でも16,585台、12.11%の減少となっている。

インター別で見ると、前年同月比では西山・米山インターで入口・出口ともに大幅な減少、前月比ではすべてのインターの入口・出口において大幅に減少している。

7. 市内民間金融機関預金・貸出金残高

【単位：百万円、％】

| | 預 金 | | | 貸 出 金 | | |
|-----|---------|-------|-------|---------|-------|-------|
| | 残 高 | 前年同月比 | 前 月 比 | 残 高 | 前年同月比 | 前 月 比 |
| 末 残 | 359,974 | 2.66 | -0.96 | 150,908 | -1.35 | -1.07 |
| 平 残 | 358,711 | 2.82 | 0.45 | 149,342 | -0.08 | -0.31 |

預金は、末残が前年同月比で9,331百万円、2.66%の増加となったものの、前月比では3,521百万円、0.96%と減少している。平残は、前年同月比で9,860百万円、2.82%の増加、前月比でも1,631百万円、0.45%と増加している。

一方、貸出金は、末残が前年同月比で2,069百万円、1.35%の減少、前月比でも1,638百万円、1.07%と減少している。また、平残においても前年同月比で134百万円、0.08%の減少、前月比でも465百万円、0.31%の減少となっている。

8. 市内手形交換高

【単位：枚、百万円、％】

| | 枚数/金額 | 前年同月比 | 前 月 比 |
|---------------|--------|--------|--------|
| 交 換 枚 数 | 28,904 | 495.71 | -8.32 |
| 交 換 金 額 | 19,903 | 355.56 | 15.44 |
| 不 渡 り 手 形 枚 数 | 16 | 220.00 | 0.00 |
| 不 渡 り 手 形 金 額 | 19 | 621.01 | -10.27 |

(資料出所：長岡手形交換所)

柏崎手形交換所は、平成21年3月31日に廃止となり、新たに平成21年4月1日から長岡手形交換所に統合されたため、平成21年4月分から長岡手形交換所による計数となっています。なお、前年同月比については、平成22年3月分までは柏崎手形交換所との比較になります。

長岡手形交換所における手形交換高は、交換枚数が前年同月比で24,052枚、495.71%の増加となったものの、前月比では2,626枚、8.32%と減少している。また、交換金額は、前年同月比で15,534百万円、355.56%の増加、前月比でも2,662百万円、15.44%の増加となっている。なお、不渡手形は16枚、19百万円発生している。

法的整理（負債1,000万円以上）による県内企業倒産6件（前年同月6件、前月4件）、負債総額19億円（同25億円、同12億円）となっている。地区別では、下越地区で3件（新潟市2件、佐渡市1件）、中越地区で3件（長岡市1件、南魚沼市1件、加茂市1件）発生し、上越地区では発生していない。業種別は、建設業2件、製造業1件、販売業2件、運送・通信業1件となっており、倒産原因については、発生した6件すべてが販売不振となっている。

当月の企業倒産は6件、負債総額で19億円と、前年同月比では件数は同数、負債総額では6億円の減少となっている。なお、負債総額10億円以上の大型倒産は発生していない。

県内経済は、一部に持ち直しの動きがみられるものの、厳しい状況が続いている。企業における企業収益及び景況感下げ止まり傾向となっている。個人消費は、一部に明るさがみられるものの、目立った回復には至っていない。また、雇用面は引き続き厳しく、今後、更に悪化していくおそれもある。